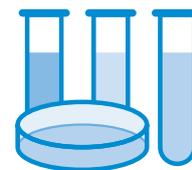


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

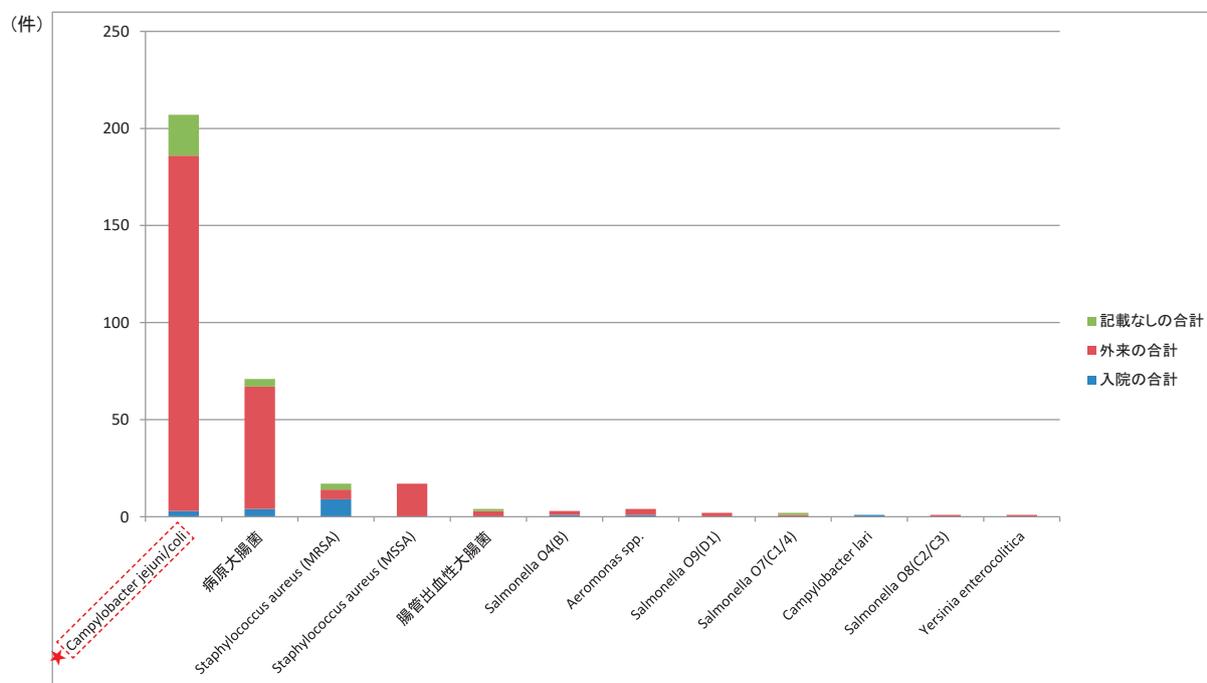


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、糞便の細菌検出状況と、薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【糞便】細菌検出状況 2020年06月



2020年6月の糞便の細菌検出状況では、*Campylobacter jejuni/coli*が一番多く検出されています。*Campylobacter jejuni*はウシ、ヒツジ、ニワトリ、イヌ、ネコ、水鳥など多くの動物が保有しています。ヒトには経口感染によって胃腸炎を起こし、食品や飲料水を介して集団食中毒を引き起こすこともあります。感染後に神経疾患であるギランバレー症候群を続発することもあるので注意が必要です。

また、*Campylobacter coli*は形態、発育性、生化学的性状が*Campylobacter jejuni*と類似し、あらゆる動物に分布しますが、特に豚が高率で保有しています。

【薬剤耐性菌分離状況】

2020 年 6 月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	46%	16	5%	4	29%	122	40%	14	55%	6
	Klebsiella pneumoniae	14%	6	0%	0	14%	7	0%	0	0%	0
	Proteus mirabilis	69%	18	0%	0	41%	18	100%	1	57%	4
	Klebsiella oxytoca	100%	1	0%	0	11%	1	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		1%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		63%	141	50%	17	48%	22	40%	8	30%	106
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		15%	17	0%	0	0%	0	0%	0	40%	2
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		3%	4	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性 H.influenzae)		2%	2	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

6 月は、呼吸器系の検体からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)が 2 件検出されています。CRE は、腸内細菌科に属する菌種で IPM や MEPM などのカルバペネム系抗菌薬に耐性を獲得した菌です。

CRE は感染症法の 5 類感染症に指定されています。CRE が血液、腹水、胸水、髄液などの無菌材料から検出された場合は、感染症の起炎菌と考えられることから届出の対象となります。一方、喀痰、膿、尿などの材料から検出された場合は感染症の原因菌と判定された場合に届出の対象となります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係